

# くすのき

大曾根小学校 学校便りNo7

R6. 11. 28発行 文責 教頭 奥水 浩美

## 10、11月実施の校外学習(1・5・6年生)より

秋らしい天候の中、学びの目標が達成できるよう、児童は主体的に活動することができていました。

各学年の活動の様子をご紹介します。これからの学校生活に、今回の経験を生かしてほしいと思います。

自分も友達も  
楽しめたね！



### ～1年生 校外学習「こもれび森のイバライド」～

～児童の振り返りより～

イバライドには、たくさんのだうぶつが いました。ウサギや モルモットは、けがふわふわして いました。やぎは ごわごわして、ひつじは もこもこして いました。さいしょは 大きな うまが こわかったけれど、やさしい目をしていたので、からだをさわってみました。すべすべして いました。みんな にんじんや ほしくさを おいしそうに たべてくれました。だうぶつと なかよくなって、うれしかったです。おべんとうの あとに、キューブキャンドルをつくりました。いろの くみあわせを かんがえながら、キューブを入れました。とても すてきに できあがりました。小学校 はじめての えんそくは、みんなと なかよく きまりを まもって いくことが できました。とても たのしかったです。



### ～5年生 宿泊学習～

～児童の日記より～

宿泊学習を通して、僕は3つの大切なことを学びました。

一つ目はオリエンテーリングで「話し合うことの大切さ」を学びました。

目標を達成するためには、意見を出し合い協力することが必要だと実感しました。

二つ目はキャンプファイヤーを通じて「友達と一緒に楽しむことの大切さ」を再確認したことです。楽しく歌い踊ったことで友達との仲がさらに深まりました。

三つ目はカレー作りを通して「みんなで協力することの大切さ」を学んだことです。役割分担し助け合いながら作った、カレーが美味しかったです。

これらの経験を、今後の学校生活にも生かしていきたいと思います。



### ～6年生 修学旅行～

～児童の振り返りより～

「楽しかったなあ」と声が漏れた修学旅行帰りの車内。お母さんにはどうだった？と聞かれたが、たくさんのがあって帰りの車の中では話し切れなさそうだ。

私は、この修学旅行で相手を思いやる気持ちと感謝する気持ちが大切だということ学んだ。鎌倉班別行動では、目的地が「臨時休業」のハプニングや銭洗弁財天に向けての道が分からなくて大変であった。ハプニングがたくさんあったが、班全員が相手を思いやり、「できない」ではなく「今できることは何か」を考え協力して鎌倉の街を満喫した。そして、キッザニアでは、お年寄りを介護するケアサポートセンターの仕事を体験して、社会は様々な仕事をする人がいて支えられていることを学んだ。何よりもこの修学旅行に行かせてくれた家族に感謝したいと思った。

